

学習指導要領		都立篠崎高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たち生きる社会</p>	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<p>○現代社会の諸課題を考察するために、「幸福、正義、公正」などの概念が大切であることを理解する。</p> <p>○現代社会が、経済のグローバル化や科学技術の進歩に伴い、利便性や効率が高まる一方で、様々な問題点が生じていることを理解する。</p> <p>○現代社会における資源・エネルギーの重要性を理解する。</p> <p>○現代社会の諸課題である「生命」「情報」「環境」などの問題を多面的・多角的に考察する。</p>
<p>(2) 現代社会と人間としての在り方生き方</p>	<p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成 生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p>○青年期は、人生の中でとても大切であることを理解し、親への依存から脱し、アイデンティティを確立し、成長するじきであることを理解する。</p> <p>○青年期特有の社会的課題について考察し、積極的にそれを実現しようとする態度を養う。また、そのことが自己形成にとって必要であることを理解する。</p> <p>○自己実現のために、社会との関わりが必要であることを理解する。</p> <p>○職業生活が、一人ひとりの生活にどのような影響を与えているか、理解する。</p> <p>○日常生活において、日本の伝統・文化の果たしている役割について考察し、自ら主体的に社会の形成にかかわっていく態度を養う。</p> <p>○青年期における、望ましい生き方・在り方を考察し、自己の生き方に対する理解を深める。</p>

学習指導要領	都立篠崎高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<p>○現代の社会にとって、民主主義の考えや制度が大切であることを理解する。</p> <p>○歴史的に、民主主義の考えや制度がどのようなプロセスで発達してきたか、理解する。</p> <p>○社会契約説が、民主主義の形成に果たした役割を王権神授説や国家主権論と対比させながら考察し、現代政治にいかにか影響を与えているか理解する。</p> <p>○日本国憲法の制定過程を第二次世界大戦や占領と関連付けて理解する。</p> <p>○日本国憲法と明治憲法の考え方の違いを考察し、日本国憲法の特質を理解する。</p> <p>○国民主権が民主主義の発展にとって不可欠なものであり、国民の政治参加が大切であることを理解する。</p> <p>○国会・内閣・裁判所がそれぞれどのような役割を持っているか、そして、3つの機関が互いにどのような関係を持っているか、理解する。</p>
<p>ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<p>○人権が歴史的にどのように発展してきたかを考察し、その上で、憲法で保障している様々な権利について理解する。</p> <p>○日本国憲法では、基本的人権が永久不可侵の権利として保障され、個人として最大限に尊重されることの意義について理解し、現代社会を取り巻く様々な問題を考察する中で、他者とともに生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>

学習指導要領	都立篠崎高校 学カスタンダード
<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方</p> <p>現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<p>○法律や様々な社会規範が、社会・国家の安定に関わっており、法を尊重することの大切さを理解する。</p> <p>○紛争の公平な解決のために裁判があり、そのために司法権の独立があることを理解する。そして、国民の司法参加として、裁判員制度があり、国民ひとりひとりが司法に関わることの必要性について考察する。</p> <p>○人間の尊厳を大切にし、生命を尊重することが必要であることを理解する。また、他者と共に社会を築くことの大切さを理解する。</p> <p>○経済活動が国民生活に深く関係しており、そして、技術・社会の変化に応じて変化してくることを知る。</p> <p>○経済活動は家計・企業・政府によって生まれ、その相互の関係によって、商品・貨幣が循環することを理解する。</p> <p>○市場経済においては、価格機構が働き、自由競争の結果、自動的に生産・価格が決定されることを理解する</p> <p>○政府の役割について知り、かつ財政を歳入・歳出の観点から理解する。また、財政赤字、社会保障費の増大等の財政上の課題を考察する。</p> <p>○国民の生活を豊かにするための財政活動について、税制を中心に考察し、その意義について理解する。</p> <p>○金融の仕組みについて理解し、金融が現代社会に果たしている役割を考察する。また、現代経済において日銀の役割、機能について理解する。</p> <p>○戦後日本経済の概要について理解し、現在の日本社会における経済的な課題について考察する。</p>

学習指導要領	都立篠崎高校 学カスタンダード
<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割</p> <p>グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p>	<p>○労働問題の現状について多面的、多角的に考察し、労働基本権が保障されていることに意義について理解を深める。</p> <p>○生活上のリスクに対応するために社会保障があり、病気、老齡、失業、貧困等の場合、どのような保障があるのか理解する。</p> <p>○NEET や引きこもり等の問題が社会にどんな影響を与えているか、考察する。</p> <p>○国際法が国際社会で、どのように運用されているか、そして国際法にはどのようなものがあるか理解する。また、国際社会においては国家がその主体であるが、近年は国際機関、NGO などの組織も国際社会で活動していることについても理解を深める。</p> <p>○国際紛争の様々な原因について理解し、平和な国際社会を実現するためにはどうすべきか考察する。</p> <p>○世界平和に関して国際連合・国際連盟が果たしてきた役割やその課題を理解する。</p> <p>○第二次世界大戦後の国際社会の変容について理解し、東西対立が起こった原因について考察する</p> <p>○グローバル経済の進展により、世界中で、人・物・金・情報が国家間を巡り、それが各国経済に影響を与えていることを理解する。また、それに関して、EU などの地域統合の状況についても考察する。</p> <p>○世界の貧困の問題、南北問題について知り、その要因についても考察し、そのことと日本経済がどのように関わっているか理解する。また、南南問題の変遷について考察する。</p> <p>○世界的な規模で起きる環境問題が生じており、それがどういう原因で起きているか知る。そして、環境問題に日本がどうかかわってきているか、どうすべきか考察する。</p>

	学習指導要領	都立篠崎高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<p>○日本が国際社会において、経済面はじめいろいろな点でかかわっており、依存していることを理解する。とりわけ、日本のODAについて、その額や国際社会における水準との比較、課題を知り、難民や貧困、災害救助などの点で、日本がどう活動しているか知る。</p> <p>○国際社会の現代の動向、特に領土をめぐる紛争・対立についての日本の対応を知り、日本の安全保障や外交の在り方について考察する。</p> <p>○持続可能性とはどのような概念であり、それがどうして唱えられてきたか、理解する。また、持続可能な社会の形成に関しては、互いの自由、権利を尊重しながら築くことの大切さを理解する。そして、地球上の資源やエネルギーなどは有限であり、環境問題の観点からも成長制約があることを知り、今後、地球に住む一員として、どのようにすべきか、考察する。その上で、環境要因の制約を乗り越え、地球と共存し、人間の生活・経済活動を両立するためにはどのような取り組みが必要であるか、考えを深める。</p> <p>○持続可能な社会にとって大きく関係のある人口問題の現状を知り、その原因や問題点を理解する。</p> <p>○環境保全、動物保護と経済成長との関係について考察し、その両立を図るための国内外の取り組みについて理解する。</p>